法事のご案内

発行：大慶寺

ご供養は
大切な方と
出会い直す場

大切な方へお供え物をし、香を手向け
お経を読み、お題目をお唱えし
「功徳」という贈り物を
気持ちを込めて届ける場がご供養です

と同時に
大切な方の「いのち」と改めて向かい合い
自分自身の「いのち」を問い直す場でもあります

私達の心も諸行無常
気づかぬうちに、うつろい変化しています

変化している私たちが
改めて、大切な方と「出会い直す場」が
ご供養であると考えます

申込みまでの流れ

1 家族で相談

法事を行う３ヶ月くらい前になったら、家族で相談し、
希望日や候補日を確認します。
候補日を複数挙げていただくといいです。

2 日時を確認し、予約

電話で希望の日・希望の時間を伝え、大慶寺の空いている日時を確認し予約をします。

3 準備物を確認し、参列者人の数を伝える

準備する物を確認します。
また当日控え室を準備する都合上、おおよその参列者の人数がわかりましたら、遅くても前日までに大慶寺にお伝えください。

電話で	MAILで	LINEで
054-641-1229	yuiou@enmyozan.org	

併修（へいしゅう）について

　併修とは、複数人のご先祖さんの法事を一度にまとめて行う事を言います。法要を行う日は、あとに亡くなった故人のご命日にあわせ、ご命日の前に行うのが通例です。三回忌までは、なるべく併修は避けお一人のみで行う方が望ましいと言われます。とはいえ様々な環境や状況がありますので、その時の最適解を考えてみてください。

　また、お年忌を行う年が１、２年前でも併修で行う事も増えてきました。というのも、ご親戚の方に何度も何度も来ていただくのも申し訳ないという背景があるようです。

【事例】
今年は父の７回忌の年。
来年は祖父の 33 回忌を迎え、
再来年は祖母の 23 回忌を迎えます。
どうしたらいいでしょう？

今年は父の７回忌を行い、翌年に祖父の 33 回忌と祖母の 23 回忌を一緒に行う方が丁寧です。

父の７回忌に合わせて、祖父の 33 回忌、祖母の 23 回忌を併修にて行うこともあります。

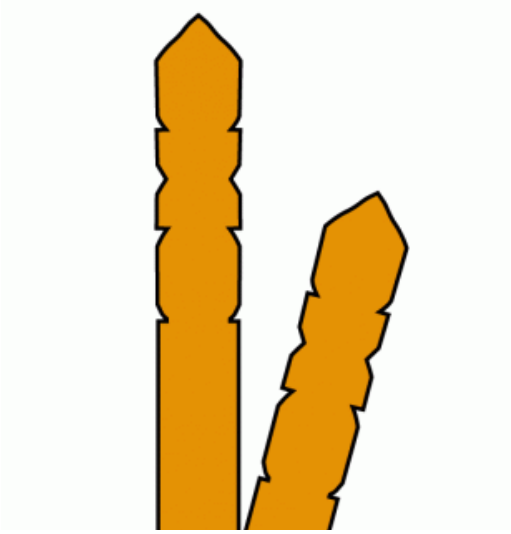
どちらでも大丈夫です

塔婆（とうば）について

塔婆供養は大切な方への敬慕の気持ちを形として顕したもの

大慶寺のある藤枝の地域では、基本的には施主である各家で１本建てるのが一般的ですが、都内ではご家族・ご兄弟・ご親戚など、参列者がそれぞれのお名前で建てることが多いです。

また、事情により参列したいけれども参列できない場合も、欠席者の名前で塔婆を建てることもあります。



塔婆代　3,000 円／１基（本）

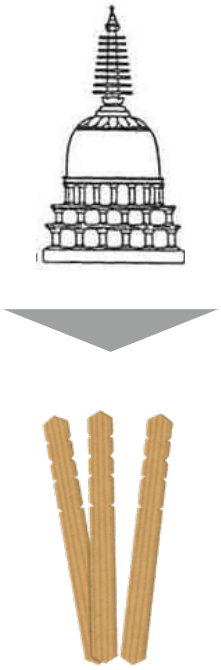
塔婆とは

2,500 年以上前、お釈迦様が亡くなった時に敬慕のために建立されたのが「ストゥーパ」と呼ばれる仏舎利でした。

この仏舎利塔が日本に伝わり発展を遂げ、五重塔となり、その後つくられた五輪塔です。

塔婆は五輪塔が簡略化されたもので、五輪塔の５つの形の意味を塔婆も同じく持っています。塔婆の根源は仏舎利塔あり、亡き方に対する敬慕の想いが形となったものです。

法華経の中にも「皆、塔を建てて供養すべし」と説かれ塔婆供養を大切にしています。



御布施（おふせ）について

原則は「できる時にできる範囲で」

　御布施とは「施し」のこと。
施しには、①財施（お金の御布施）②法施（お経の御布施）③無畏施（畏れや不安を除く御布施）の３種類があります。
　一般的に御布施というと仏事をした時、お寺へ差し出す御礼という意味でご理解している方も多いと思いますが、あくまでも「施し」なので金額は決まっておりません。よく言われる「お気持ちで」という事。つまり「できる時に、できる範囲で」というのが大原則です。

「お気持ちで」では解りづらいという現実

　その人にとって出来る限りのことがお布施でありますので、その人その人によって、異なっていたのが元来でした。本当はそれが正しいのです。
　しかし、檀家さんから、「お気持ちで」の気持ちはわかるが解りずらい「一般的な目安を教えていただきたい」との問い合わせも多くなってきました。
　仏教では「中道」を大切にしますので、本来のお布施の意味を御理解頂くことを前提に、あえてお布施の目安を申しますと大慶寺の法事では、30,000円／霊位が多いです。(塔婆代は別)
　あくまでも大慶寺の目安ですので、最終的には各家・各個人で決めていただいて結構です。

「お金がないからご供養できない」をなくしたい

　仮に、御布施に定価が決まっていたらどうでしょう？お金がないから葬儀ができない。お金がないから供養ができない。そのような事態は大慶寺としては、なんとしても避けたいことです。
　お布施は本当に「できる範囲」で結構ですので、一緒に供養をしていきましょう。檀家さんがどんな状況であれ、しっかりと供養することが菩提寺の勤めだと思っています。

御布施（おふせ）の目安

供養する霊位	法号（戒名）が 信士／信女	法号（戒名）が 居士／大姉
１霊位	30,000 円	50,000 円
併修（２霊位）	50,000 円	70,000 円
併修（３霊位以上）	２霊位 +10,000 円／人	２霊位 +20,000 円／人

お布施についての具体例

檀家 M さん　６０代

父の２３回忌と母１３回忌の併修

何年かぶりかのお年忌ということもあり７万円お布施しました。

檀家 A さん　３０代

兄の１周忌

両親も他界しており、頼りにしていた兄の逝去。葬儀から、様々な費用がかかったため１万円お布施しました。

檀家 I さん　５０代

父の３回忌

法号が代々居士。父はお寺を「別荘」のような感覚で大切にしていました。最近お参りにもいけていなかったので 10 万円お布施しました。

檀家 Y さん　80 代

夫の３３回忌

年金暮らしで、貯金もわずか。それでも供養したいと思い 5,000 円をお布施しました。

準備するもの

①お供物

厳密に決まりはありません。個人が好きだった物や、季節の物がよいと思います。写真のように、果物３種類程度と、お菓子を３種類程度を一対（２セット）でお供えする場合が多いです。

ご都合がつけば前日にご持参ください。

なお、お供物は法要終了後、お帰りの時、お持ち帰りいただくようにしております。

お供物を準備することが難しい方は

お供物セット　3,000 円

〈事前にお申し込みください〉

②お墓用のお花・線香

大慶寺に墓地のある方は、本堂での法要後お墓参りに行きます。その際に必要な物はお花とお線香です。スムーズに墓経に行けるように、お花は法要前までにお墓にお供えください。

【任意】お位牌・お写真

基本的には大慶寺の位牌堂に安置してある各家の「寺位牌」を本堂の御宝前に安置するのでご持参いただかなくても結構です。お写真は小さいサイズの物をご持参いただくことが多いです。

当日のながれ

1 10分前に集合

法要開始10分前には本堂にご案内できます。また、控え室がありますので、早く到着されても控え室でお待ちいただけます。湯茶を準備してありますので、各自でご利用ください。

2 本堂にて法要

法要の時間は法話を入れて30分～40分です。
小さなお子様も遠慮なくご参加ください。1つの空間を共有するということも大切ですし、ご先祖様に成長した姿を見せる再会の場でもあります。
騒いだり、動き回ることもあるかも知れませんが、気兼ねなくご参加ください。

3 お墓参り

大慶寺に墓地がある方は墓経を致します。スムーズな墓経が出来るように事前に、供花の準備をお願い致します。

※大慶寺に墓地がないお宅に関しては、49日等の納骨の際にはお伺いいたしますが、それ以外の法事の場合は各自で墓参をお願いしております。

各自お斎へ向かいます

お斎（とき）の席での客殿の利用について

お斎（法要後の食事）とは

法要の後、施主が参列者を招待して行なう食事（会食）の場をお斎と言います。施主が参列者に食膳を施すことにより、その施しの功徳を故人へ向ける供養の一つでもあります。
参列者に対する感謝の思いを示した席であり、参列者全員で思い出話をして故人を偲ぶ目的もあります。

大慶寺客殿・新客殿を利用

お斎の会場として、大慶寺の客殿・新客殿を無料で使用することができます。
但し基本的には、会場提供のみになりますので、準備・片づけ、食事飲み物の手配や給仕は各自でお願い致します。
台所・冷蔵庫もございますので、ご自由にお使いください。

注文・準備・給仕・片付けなど大変の方には
下記の要領でお斎の手配や当日の給仕を承ります

お斎の手配（発注・準備・給仕・片づけ）

10,000 円

※上記金額以外に食事代、飲み物代の実費がかかります
※食事の予算をお聞かせ下さい

注意事項

時間厳守

時間の厳守をお願い致します。特に法事が重なる場合、お互いのご協力をお願い致します。時代の流れで土・日曜日に法事が集中します。
後の法事の関係でお斎の席には出席できない場合もございますのでご理解を宜しくお願い申し上げます。

お子様歓迎

法事は「いのちの繋がり」を感じる大切な時間。「子どもが泣いたら迷惑になるから、遠慮します」という配慮をいただくこともありますが、遠慮せずにお子様をご一緒にお連れいただき、ご参列ください。多少騒がしくても、動き回っても結構です。同じ空間にいるということが価値あることだと思っています。

服装について

服装は必ずしも令服でなければいけないということはありません。しかしながら、Tシャツ短パンでは困ります。各自でご判断いただければ結構です。
３回忌以降は比較的平服に近い方も多くなってきました。

客殿に着替えができる部屋があります
ご自由にお使い下さい

チェックリスト

チェック	内　　容	備　　考
□	大慶寺と日程調整・予約	
□	お斎の店の手配・予約	
□	案内／出欠確認	案内状 or 電話で連絡。出欠を確認
□	お斎の料理の数伝達	
□	返礼品の手配	
□	大慶寺に参列人数を伝える	
□	お供物準備	
□	お墓用の花	
□	お墓用の線香	
□	塔婆代	
□	御布施	
□	遺影・位牌（任意）	

心かえる場所
大慶寺

住所　藤枝市藤枝 4-2-7
電話　054-641-1229
WEB　enmyozan.org